

# 第58回日本クラフト展 —クラフト NEXT—

招待審査員からあなたへ

## 唐澤 昌宏 (KARASAWA Masahiro)

東京国立近代美術館 工芸課長

略歴

1964年：愛知県名古屋市生まれ

1990年：愛知県立芸術大学大学院美術研究科研修生修了

1991年：愛知県陶磁資料館（現、愛知県陶磁美術館）学芸員

2003年：東京国立近代美術館主任研究員

2010年：同工芸課長



素材が導く形や質感は、モノとしての存在感に繋がります  
素材の魅力、その素材を生かす確かな技がしっかりと感じられる作品は  
時を超える力があります  
未来へと繋ぐ現在（いま）を映し出す作品を期待しています

## 小泉 誠 (KOIZUMI Makoto)

家具デザイナー／武蔵野美術大学教授

略歴

1990年：Koizumi Studio 設立

2003年：こいずみ道具店開設

2005年～：武蔵野美術大学教授

2010～15年：高岡クラフトコンペ審査員長

2012年：毎日デザイン賞

2015年：日本クラフト展 経済産業大臣賞・日本クラフト大賞+招待審査員賞



作り手の気配を感じ、ものの周辺に意識を持った情緒的な仕事が好きです  
そして何よりも「美しい形」に出会えることを期待しています

## 三瀧 末雄 (MIZUMA Sueo)

ミヅマアートギャラリー エグゼクティブ・ディレクター

略歴

1980年代よりギャラリー活動を開始

1994年：東京・青山に「ミヅマアートギャラリー」を開廊（現在は新宿区市谷田町）

2008年：北京に「Mizuma & One Gallery」

2012年シンガポールに「Mizuma Gallery」を開廊

2014年：インドネシアにレジデンススペース「ルマ・キジャン・ミヅマ」を開廊

2014年：著書『アートにとって価値とは何か』（幻冬社）

2015年『MIZUMA 手の国の鬼才たち』（求龍堂）刊行

2018年：京都造形芸術大学 客員教授



撮影：野口博

クラフトデザインと現代アートは対照的でありながらも不可分な領域を共有し  
共に人類の歩みを時代に刻んできた  
未知なる造形表現を追求する創作者たちの姿勢を  
感じ取れる作品に出会えることを楽しみにしています